7　芸術（美術）

学校番号	３０２

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術 3」　（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」など、多種多様な作品を知り、自身の表現を深めていきます。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	よく「みる」	手の写生 「パステル」で描写	○	○	○		a:一番身近な「自分の手」をしっかり観察し、発見する。 b:対象を凝視し、形だけでなく質感や存在感もつかむ。 c:パステル独特の、ぼかし等のタッチでの描写を工夫する。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	写生	校内写生 「鉛筆」で描写。	○	○	○		a:自分たちの慣れ親しんだ学舎への想いを込め、制作する。 b:形だけでなく、想い・雰囲気をつかまえる。 c:透視図法・遠近法などに留意して、空間を描出する。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	シルクスクリーン	シルクスクリーン版画 オリジナルのカバンやTシャツを制作する。	○	○	○		a:オリジナルグッズを作る気持ちで、自分の欲しい、他人が欲しくなるような魅力的な作品になるよう制作にとりかかる。 b:どのようなデザインなら失敗せずに完成させることができるのか考える。 c:元版を作る際、スムーズに印刷できるよう考える。印刷する媒体に対しての色の置き方も考える。	アイディアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	封入樹脂	ペーパーウェイト作り クリア樹脂の中に好きなモチーフを入れ、ペーパーウェイトを制作する。	○	○	○		a:透明な樹脂に封じ込めて綺麗なもの、おもしろいものを考える。 b:立体になることを想定し、樹脂を流し込む容器など、できあがりの想定もしながら制作する。 c:根気よく一つのモチーフと向き合い作品のクオリティを高める。	制作の様子 制作途中の作品 作品

後期	卒業制作	作者が自由に課題を設定し、制作する。	○	○	○	○	a:今までの美術活動の集大成としての制作をする。 b:自分は何が好きか、どんな表現が好きか、をしっかり考察する。 c:各々が自分に必要な材料・道具・技法を考え、制作を工夫する。 d:世界の表現者たちはどんなことをしているのか、「美術」とは何か、を想いながら鑑賞し、自身の表現を探求する。	ワークシート 制作の様子 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。